

鳥取縣公報

縣令

◇鳥取縣令第五十六號

昭和八年七月鳥取縣令第二十一號林產物檢査手数料規則中
次の通り改正する。

昭和二十一年十月八日

鳥取縣知事 林 敬 三

第一條第一號中「三十錢」を「六十錢」に
第二條中「六十錢」を「八十錢」に改める。

附 則

本規則は公布の日よりこれを施行する。

告 示

◇鳥取縣告示第四百十八號

装蹄師法第一條第二項第三號に當る次の者に對し装蹄師免

昭和二十一年十月八日
第七百五十一號

火 曜 日

許證を交付した。

昭和二十一年十月八日

鳥取縣知事 林 敬 三

登録番號 登録年月日 本 籍 氏 名

第二號	昭和二十一年十月四日	鳥取縣	眞原	豊彦
第三號	同	同	西村	久松

◇鳥取縣告示第四百十九號

物質統制令第三條第一項但書の規定により全手工製高級靴
の統制額を次の通り許可した。

昭和二十一年十月八日

鳥取縣知事 林 敬 三

申請者 鳥取縣靴工業統制組合

理事長 田 川 重 義

許可に附したる條件

一、販賣數量は三〇〇足とし全國靴統制組合の高級靴検査規格による検査に合格すること。

二、販賣先は縣の指示により、毎月の販賣數量を經濟部長宛報告すること。

三、最終販賣價格は二二〇圓を超えてはならぬ。(物品税を含まず)

四、この許可は許可の日から昭和二十一年十二月末日迄有効である。

五、中央統制による靴の計畫生産に影響を及ぼす等の統制上必要があると認めらるゝときは許可を取消すことがある。

許可の日

昭和二十一年十月三日

◇鳥取縣告示第四百二十號

「コレラ」豫防のため九月一日公布せる山口縣令第九四號イ一號は九月二十七日廢止の旨山口縣から通報があつた。

昭和二十一年十月八日

鳥取縣知事 林 敬 三

◇鳥取告示第四百二十一號

昭和二十一年九月二十八日の臨時縣會に於て議決された昭和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加更生豫算の要領は次の通りである。

昭和二十一年十月八日

鳥取縣知事 林 敬 三

昭和二十一年度鳥取縣歳入歳出追加更生豫算

歳入 常 部

△印減

第一款 縣 税 一六、三六九、四七四圓

第二款 國稅附加税 一、四九七、七〇三

第三款 獨立税 九、六八一、五八一

第四款 地方分與税 七三、七九〇

第五款 使用料及手数料 五、一一六、四〇〇

第六款 使用料 二、四〇一、六四八

第七款 使用料 二、〇五五、五九五

第五款 國庫支出金 五、三四〇、七四九

第一款 下渡金 一一、一四三、七七七

第二款 補助金 四五、八〇三、〇二八

第三款 雜收入 四七七、二七八

第四款 雜收入 八、五一八

第五款 納付金 二、七三七

第六款 辨償金 四三一、二九七

第七款 物品賣拂代 三四、七二六

第八款 雜 入 二四、五八九、一四九

經常部計 二四、五八九、一四九

臨時部計 臨 時 部

第一款 繰越金 △三、七二〇、五二二

第二款 前年度繰越金 △三、七一〇、五二二

第三款 國庫支出金 一四、九〇五、五八七

第四款 補助金 一四、九〇五、五八七

第五款 寄附金 四、六三九

第六款 寄附金 四、六三九

第七款 臨時部計 一一、一九九、七二四

歳入合計 三五、七八八、八六三

經常部計 經 常 部

第一款 神社費 △一四、八八五

第二款 神社費 △一四、八八五

第三款 厚生費 一、〇〇九、〇〇〇

第四款 保護救護費 一、〇〇九、〇〇〇

第五款 諸 費 三四六、八八五

第六款 諸 費 三四六、八八五

第七款 公金取扱費 三四六、八八五

第八款 諸 費 一、三四一、〇〇〇

經常部計 經 常 部

臨時部計 臨 時 部

第一款 諸 費 三四、四四七、八六三

第二款 職員給與制度改善費 三一、七六七、〇六九

第三款 物價騰貴對處費 二、六八〇、七九四

第四款 臨時部計 三四、四四七、八六三

第五款 歳出合計 三五、七八八、八六三

第六款 臨時部計 三五、七八八、八六三

第七款 歳出合計 三五、七八八、八六三